



2024~2025 年度  
大船渡西ロータリークラブ会報

# 七福人

会 長 山口 徹  
副会長 今野 義也  
幹 事 谷地 保



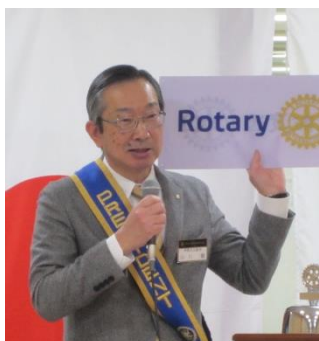
= 会長指針 =  
笑顔でロータリー

## ．．． 例 会 記 録 ．．．

12月第1回例会 2024年12月5日(木)

ソング : 君が代・4つのテスト ボックス : 20,000円 (報告者 松岡研二 会員)  
本日出席率 : 60.61% 前回修正後69.70% (メンバー7名) (報告者 新沼達央 会員)

★ 会長の時間 : 山口 徹 会長



みなさんこんにちは。気づいたでしょうか？ロータリー旗が新しくなりました。公式ロゴを使った旗です。長年、歯車だけがロータリーのロゴとして使用されてきました。歯車には“Rotary international”の文字が入っていますが、文字が小さいため遠くから識別することはできません。このため2013年、ロータリーは公式ロゴを拡張し、歯車のとりに”Rotary”の文字をいれました。ロータリーの歯車は今も「誇りのシンボル」です。公式ロゴのバッチをしているロータリアンが増えたようです。この旗で活動すれば「ロータリーの友」に記事を掲載できます。これからこの旗を大切に使います。また本日は2回目の新入会員の卓話、話す方は大変ですが楽しみでしております。千葉会員、佐藤会員よろしくお祈いします。

11月25日(月)午後6時から7時30分ズームでRI2520地区第2回地区行動計画推進リーダー(前回はアクションプランチャンピオン)会議に参加しました。ステファニーA.アーチックRI会長は、行動計画(アクションプラン)の重要性を強く訴えており、RIは「3-Year Rolling Goals」の基、各クラブに3年間の目標を設定することを推奨しています。まずは私が行動計画推進者としてクラブセントラルに今年度の目標を設定しました。みなさんWEBでMy Rotaryをご覧になっているでしょうか？その中にクラブセントラルという項目があります。一度見て下さい。

### < 抜粋 >

項 目	目 標	実 績	達 成
会員増強	35人	33人	
奉仕活動への参加	40人		
年次基金への寄付	1500ドル	564ドル	
ポリオプラス基金への寄付	200ドル	286ドル	○
親睦のための活動	30人	30人	○
新会員の推薦	10人		
地区研修への参加	8人	10人	○

以上よろしくお祈いします。

## ◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- 1 2023-24年度ガバナーより 年次報告書が届いています。
- 2 ガバナー事務所より
  - ❖ 12月5日の不在連絡が届いてます。不在時間 9時30分~16時頃
  - ❖ 12月のロータリーレート 1ドル150円
- 3 全国ロータリークラブ野球大会事務局より
  - ❖ 甲子園における親睦大会への出欠伺いが届いています。  
締切 12月13日 大会参加費 56万円
  - ❖ 能登半島地震への義援金拠出報告が届いています。  
36クラブから3,555,000円 大会より1,345,000円 計490万円を7クラブに寄付
- 4 社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会より 協賛金協力のお願いが届いています。  
1口10,000円 募集期間 R7年3月31日
- 5 11月30日一関中央RCの30周年式典・祝賀会に、会長・菅野次期会長・藤原会場監督・谷地の4名で参加してきました。

## ◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆

### ★ 青少年奉仕委員長



今週の土曜日7日は、東高校の生徒と「大洋学園でのクリスマス会及び歳末助け合い募金」を行います。

クリスマス会は9時30分から 歳末助け合いは11時~12時30分  
マイヤインター店とサンリアで行います。

参加申込されていない方でも構いませんので、多くの皆様のご協力お願いいたします。

## ◆◆◆ 本日のプログラム ◆◆◆

### フリーアワー：新入会員卓話

### ★ 千葉 生会員



まずは自分の中では11月29日に卓話は終わったはずでした。

ですが朝5時に起きたら夢だということに気付きました。

あまり卓話について緊張とかはしていなかったんですが何か意識して考えていたんでしょうか。ですので自分の中では2回目の卓話になります。

本日は6年前ぐらいに読んだ本について話してみたいと思います。

ひすいこたろうさんの「あした死ぬかもよ？」という本になります。読んだ方もいるかもしれませんがそこはご容赦ください。

「死」というテーマではありますが重くとらえず軽く聞いてください。これは自分にも向けての内容になりますので問いかけに対してもご容赦ください。

では進めていきたいと思います。人生を終える日、どんな気持ちに なっていたら 最高ですか？

ほんとにやりたいことをやる人生と、ほんとにはやりたくないことをやる人生。あなたはどちらを選びますか？

できればほんとうにやりたいことをやる人生を選びたいですね。しかし、予言しましょう。このままの生き方を続けると、人生最後の日、だいたいの方は90%の確率で後悔することになりそうです。

こんなアンケート結果があります。

次の質問は、アメリカで、90歳以上のご老人に聞いたものです。

「90年の人生を振り返って唯一後悔していることはなんですか？」これに対して、なんと、90%の人が同じ答えでした。それは・・・「もっと冒険しておけばよかった」と・・・

このままの生き方が続いたら5年後、あなたはどうなっているでしょうか？

このままの生き方が10年続いたらどうでしょうか？

このままの人生を過ごしたら、人生の最後の瞬間に後悔することになりませんか？

あの世にはお金も家具も服も家も持って行くことはできません。

だからこの世で財産を失うことは本当の不幸ではありません。

ではこの世の最大の不幸は何でしょうか？

それは死が間近に迫った時に自分の人生に後悔することです。

死ぬ前に後悔することこそ最大の不幸です。

しかしそれを避ける方法がたった一つだけあります。

いま、この場でしっかり自分の死を想像して見ればいい。死を真剣に見つめることであなたは自分の本心に気づくことができます。どういうわけか人は自分だけは死なないと思っています。

死ぬのはいつも他人ばかり。でも残念ながら僕らが死に至る可能性は100%です。産声を上げた瞬間から1秒1秒今この瞬間も死に近づいています。

かつてサムライ達が、あれだけ潔く、情熱的に生きられたのは、自分はいつか死ぬ身であるという事実から目をそらさずに、この命を何に使おうかと日々心を練っていたからです。

死をやみくもに恐れるのではなくサムライ達のように、死をちゃんと活用してみませんか？

死は生を完全燃焼させるための最高のスイッチにできます。

いつか死ぬ身であることがハートに落ちたとき、人は自分の本当の気持ちを取り戻す。

お釈迦様の花と呼ばれる蓮の花。蓮の花はきれいな水の中で大輪の花を咲かせることはできません。池の水が汚れているほど、美しく大きな花を咲かせます。

そしてその花びらは3日で散って行きます。たとえ3日の命でも自分らしさを咲かせたならばそれは美しい生き方になります。

ありのままの自分でその湧き上がる本心から生きたとき、たとえ3日の命でもそこに後悔はない。それが命というものです。

ではこれから死と向き合うことで本当の自分に会いに行きましょう。人生最後の日、何に泣きたいほど後悔するのでしょうか？

「はい みなさんはたったいま死にました」

ほんとに死んだつもりでこれから1分間、身動きひとつせず、目を閉じて死を感じてください。

目を開けてみてください。やり残したことはないですか？悔しくはないですか？

このまま人生を終わらせるなんて悔しくないですか、たった一度きりの人生をこのまま終わらせるなんて悔しくないですか。

これは自分でもたまにやってみることがあります。そうするとやり残したことが発見できたり、あの人に感謝を伝えてないとか気が付かれます。

この本に出合ったのが6年前、ここから自分の行動に対する意識が変わったのを鮮明に覚えております。あと息子にも読ませてしまったことを今でもよかったのかと自問しております。

それについては後程エピソードを紹介させていただきます。

そして本の中にはさらに衝撃的なことばが書いてありました

★ひとつめは あなたの今の生き方はどれくらい生きるつもりの方なんですか？ 衝撃的でした。

そうですね 死ぬと思ってないので何も考えずただのんびり生きていたなど・・・

それからは少し自分の中で意識が変わり、何歳まで生きるからこうしようみたいなゴールを設定するようになりました

★ふたつめは いつかやる あなたのいつかはいつですか？

江戸時代の平均寿命は 38 歳前後らしいです。縄文人の平均寿命はなんと 14 歳くらいだったそうです。当時は乳幼児死亡率がとても高かったのでこのような年齢にはなるわけですが、それを差し引いても縄文人は平均 31 歳ぐらいの寿命だったそうです。今は 31 歳で亡くなったら早死にで不幸だと言われます。だとすると縄文人はみんな不幸だったということになってしまいます。この世界のただ一つの真実は生まれたら死ぬということです。だから死が不幸ではない。生きていることが奇跡となります。生きている今日という一日が奇跡なのです。もし死がなければ今日やるべきことはすべて明日に回されることでしょう。そして明日になればまただんだん明後日に回されることでしょう。全てはいつかやるべき事になりそのいつかは永遠に来ない

そこで神さまは命を完全燃焼させるためのスイッチとして死を発明したんだと思います。

命を最大限に輝かせるために死という締切日を作ったのだと思います。夏休みの宿題が終わるのはいつだって 8 月 31 日でした。締め切りがなければ宿題もやりませんでしたよね。

「あらゆる仕事は締め切り直前に終わる。」そんな言葉があるくらいですから、逆を言えば締切日を自ら設けることで夢を引き寄せることができます。いつまでにやりたいか夢に締め切りを設けるのです。例えばアラスカにオーロラ見に行きたいと漠然と想着いても、いつか行ければ良いなんていう思いのまま 10 年 20 年と過ぎて行くのが普通の人生です。

そんな場合はカレンダーに先に予定を書き込んじゃえばいいんです。カレンダーに書き込みさえすれば実現率は飛躍的にアップします。みなさんは今日の予定に書きこまれたことを今日しますよね。時間は現在から未来というふうの流れていくわけですが、未来を先取りすることで未来から現在へと時間の流れを逆にできるんです。

「いつかやる」みなさんのいつかはいつですか？いつかやるのいつかを今日にした日みなさんの運命が変わります。そして、いつまでにやり遂げるか夢に締め切りを設けるのです。

冒頭にも説明しましたが息子にもこの本を読ませてしまいました。今でもよかったのかと自問しておりますが。この本のおかげかはわかりませんが、本当にやりたいことばかりやる息子になっております。大学 1 年の頃はやりたいことがあるからと 2 年間学校をお休みしまして【高田の三陸花火の運営だったり、カメラマンみたいなことであったり、イベントの運営企画であったり】やりたいことをやっております。

今年からやっと復学しまして大学生をやっております。また最近ではバイクの免許も取りさらには忍者というバイクも買い、1 台目は車に突っ込まれ即廃車。現在は 2 台目のバイクに乗りサーキットに行ったりしてタイヤを溶かしながら走ってるようです。楽しんでますね。

また最近はですね。うちの奥さんなんですけどライブに行けるかわからない中で「ダイス」というグループのチケットを買いちゃったみたいで、1 月の 15、16、17 日の 3 日間ですね

平日休んで行っちゃおうと計画しております。

なんかですね、明日死ぬかもよって言う風に考えると、どんどん予定を入れて、好きなことやってかないと時間がないと感じるみたいです。

いつか死ぬ身であることを胸に刻めば、あなたは自分の本心を思い出す。本心で生きると人生は冒険になるようです。

「もっと冒険しておけばよかった」と最後に後悔しない人生にしていきたいですね。

人生を冒険として生きるとは、やりたいことを来年にのばす人生ではないんですね。

感じたらすぐに動くということです。その先に感動があります。

もっともっと紹介したいことがあったのですが、お時間となりましたのでこの辺で終わりにしたいと思います。ご興味がありましたら書店で探してみてください。

本日はこのような機会をいただきありがとうございます。以上で卓話を終了いたします。

## ★ 佐藤裕貴会員



皆様、日々の活動ご苦勞様で御座います。会社立場上、また直近の家庭事情により参加頻度が少なく申し訳御座いません。

今年8月1日付で入会させていただきました佐藤裕貴と申します。

昭和44年9月6日生まれの酉年、現在55才になります。

住まいは盛町東町で行政区上では山口会長と同じ部落となり入会時の会長のお話しにもありました通り以前から公私にわたりお世話になっている関係でもあります。

わたくし個人の話しとしては盛保育園・盛小学校・大船渡一中・大船渡高校と進み2年途中で東京都立三鷹高校へ編入。当時わたくしの叔父が世田谷区で塾経営をされていたのでそこで衣食住とお世話になりながら卒業し、仙台のデザイン専門学校へ入学しました。

卒業後の就職先は現在わたくしが働いています株式会社高速の子会社であります、製造部門を担う高速シーパック株式会社(当時の社名は高速シーリング(株))へデザイン担当として入社しました。

当時のデザインの仕事環境としては今のようにPC設備が乏しく、ほとんどの作業を手作業でこなすような状況でしたが、弊社が携わる食品業界のラベルや紙器や袋などの印刷デザインを手掛けてきました。しかしながら当時の労働環境は時間があればあるだけ仕事を請け負うという状況もあり、月の残業時間は100時間を当たり前を超える日々を過ごし、およそ4年で挫折。半年ほど仙台市内でぶらぶらと有意義な時間を過ごしまして、いよいよ大船渡に帰省となりました。

帰省したての時は、大船渡に帰ったら仕事と家を主軸とした静かな日々を過ごすことになるんだろうなと思っていましたが、幼少期から大変地域活動が活発であった環境で育ってきたために、帰省して即部落の青年部活動へ参加。有無も言わずそのまま盛青商と消防団へ入会させられ内容がわからない状況で活動参加してきました。

一方仕事につきましては、帰省時にいまは無きクボホームセンター大船渡店がオープンするとの事で入社し、オープンまでの1年間は気仙沼店で修業を重ね気仙沼通いをしていました。

オープンからは、工具資材部門・園芸エクステリア部門・ペット部門の担当でおよそ3年携わりましたが、並み居る大手ホームセンターの参入による事と、子供が生まれ先の生活の見通しを考慮し転職を検討していたところで、現在の職場であります(株)高速の大船渡(営)に拾っていただき現在に至る状況です。平成9年から平成25年まで、佐藤良所長のもと営業2名で頑張ってきましたが、震災を越え弊社の沿岸各営業所の環境も様々な影響を受けて、気仙沼営業所への転勤となりました。

震災復興の最中であり、多くの会社で事業再開を行うお手伝いをさせていただきながら、従来お取引のあったお客様や、新たにお取引を請け負うこととなったお客様への対応を懸命におこないながら、私生活の面でも気仙沼転勤からは、消防団活動・部落活動・地域活動から手を引き、新たなエリアでの仕事に注力せざるを得ない状況が続きました。

そんな中気仙沼営業所の所長を任命され、1年半後に大船渡営業所へ転勤。現在にいたります。

また家庭環境といたしましては、現在実家で母親と二人暮らしをしています。長男と長女は社会人としてそれぞれ仙台と千葉で生活をしています。また次男は小学校卒業時点で仙台の学校へ進学したために、義務教育の観点から嫁同伴となり、6年間別居状態でした。

その間に父親も他界し、7人家族で過すにぎやかな状況から一転し、父親・母親・自分の3人暮らしに

なった6年前の寂しさを思い出しますが、今では2人暮らしも慣れて逆に嫁が帰ってくると生活がどうなるのかと、自由な暮らしが・・・なんて思ったりもしています。

ロータリークラブへの入会のきっかけですが、株式会社高速として前任の佐藤良所長からの引き継ぎに以前にもお話しさせていただきましたが、当時齊藤会長様から弊社がお誘いを受けました「成田遠征旅行」に当職が参加し、バス移動中の飲食会の最中にロータリークラブへの参加依頼を受けまして、会社へ戻り上司の良所長へ報告。その後社内申請を承諾いただき良所長が入会となりました。

しかしながら良所長と当職が転勤で入れ替わりとなりました時点で、大船渡営業所の新環境に慣れるまでは入会を待っていただいております。

今年に入り、齊藤会長が営業所へわざわざ何度もご足労頂きながらのお誘いに加え、山口会長、また古内さんからもお声を頂きまして、社内申請の承諾を得て今年8月に入会させていただきました。

仕事面での実績や行動力また家庭環境などは、前任の良所長とは異なりますが自分にできる事を精一杯職務遂行できるように心掛けたいと思っております。

最後に、弊社の紹介を改めてさせていただきます。

株式会社高速は、食品軽包装資材の専門商社。スーパーやコンビニエンスストアで目にする、食品をトレーやフィルムで包む「プリパッケージ」の包装資材をはじめ、商品企画の“発想”から、“配送”までの全てをお手伝いしています。「食の流通を支える」さらに「食品のおいしさを演出する」ことを通して、様々な場面でお役に立ちたいと日々活動しております。

創業は昭和41年2月設立。当時は高速記録紙(株)という社名で発足し、おもにスーパーや商店のレジ機器やレジ回り資材の販売からスタートしたと伺っております。

全国的にスーパーマーケットの店舗展開がなされ、第一次発展期を迎えた時期であり当社の扱っていた記録紙の販売も、拡大するスーパーマーケットをユーザーとして順調でありましたが、記録紙というのは大きなスーパーやデパートでも1ヶ月に使用する量は限られ、将来的に消耗品ビジネスとして継続するものの、企業の成長の視点からすれば限度があるとの考えから、昭和47年には現在のメインとなっている食品軽包装資材の事業に進出となりました。食品軽包装資材に着目いたしましたのは、スーパーマーケットで使用していたトレー、ラップ等のプリパッケージ商品はそれまでは輸入が中心でありましたが、昭和40年代に入ってから国内でも生産されるようになり、それを期にスーパーマーケットの店舗展開にもより一層拍車がかかっておりました。

また、コンビニエンスストアの誕生とも相俟って、セルフサービス方式に欠かせないプリパッケージの需要は欧米並に拡大するのは必至で、そのため食品軽包装資材の需要は拡大すると見たからだそうです。昭和50年1月には営業の主体が食品軽包装資材となったため、社名も現在の株式会社 高速に変更となりました。

現在では、営業拠点を54カ所とし、北海道から関西四国まで広がっており先日も新たに広島と兵庫の姫路に2営業所を開設しております。

業界一の購買量を活かした商品の調達力に加え、豊富な人材によるノウハウを活かした営業提案力、またグループ会社5社を含め全国に広がるネットワークを活かした物流力、仕入先やグループ企業との連携による商品開発力を糧に事業をおこなっている会社であります

また、高速グループは中期経営計画の取組みとして ESG 経営の推進を経営基本方針の一つとし、企業活動を通じて様々な社会課題の解決を実現するために取り組んでおります。

実例といたしましては、岩手、宮城、福島の大震災における被災子ども寄付金や、一般社団法人 障がい者自立推進機構＝パラリンアートゴールドパートナー契約締結、仙台市緑化事業、フードバンクや子ども食堂への参加などがあげられます。

このような様々な活動を通し、サステナブルな社会の実現のため、企業活動を通じて様々な社会課題の解決を図って行います。

以上、自己紹介および会社内容をご説明させていただきました。

ご清聴有難う御座います。 今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。